

第2期石巻市子ども未来プラン点検・評価（令和5年度実績）について

1 P D C Aサイクルによる評価と進行管理について

第2期石巻市子ども未来プラン点検・評価は、計画の取組状況及び成果の達成状況を「石巻市子ども・子育て会議」において、定期的に点検・評価、審議し、P D C A（計画－実施－評価－改善・検討）による施策・事業の推進を図ることとしています。

なお、進捗状況の点検・評価の結果については、市ホームページ等により公表します。

2 令和5年度点検・評価の結果について

令和5年度点検・評価は、令和2年3月に計画策定以降、4回目の点検・評価となります。

本計画は、施策展開を5つの基本施策に分類し、20の主要施策、182の事業（見直し後）で構築されており、令和5年度の点検・評価に当たっては、関係部署等において、182事業（事業4、事業52は評価対象外）に関して令和5年度実績に基づく担当課評価（内部評価）を実施した後、これを踏まえて、主要施策20項目について、子ども・子育て会議委員の皆様に評価を実施していただきました。

主要施策における20項目の中で最も高い委員評価は、「2－4安全対策の充実」、最も低い評価は、「1－3幼児教育・保育の充実」という結果になりました。

詳細な結果について、次のとおりです。

【基本施策全体】 主要施策20項目

1 目標以上に進捗しており、継続して事業を推進する	（評価A）	5項目
2 ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する	（評価B）	15項目
3 目標をやや下回っており、要因の分析を要する	（評価C）	0項目
4 目標を大きく下回っており、大きな改善策を要する	（評価D）	0項目

※委員全体の評価から平均した評価を評点としております。

（各委員の評価人数）

基本施策	主要施策	令和5年度 平均評価
1. 子どもの健やかな成長を支える（乳幼児期から青少年期までの成長を支える）	1-1 家庭における子育てする力の向上	B
	1-2 地域における子育て支援の充実	B
	1-3 幼児教育・保育の充実	B
	1-4 発達支援・療育体制の充実	B
	1-5 心と体の健康づくりの推進	B
	1-6 居場所づくりの推進【重点施策】	B
2. 子どもの人権の尊重と安全・安心を守る	2-1 子どもの権利の推進	B
	2-2 児童虐待防止対策の強化【重点施策】	B
	2-3 心のケアの充実	B
	2-4 安全対策の充実	A
3. 安心して子どもを産み育てられる環境をつくる（妊娠・出産期からの切れ目のない支援）	3-1 親と子どもの健康の確保及び増進	A
	3-2 切れ目のない相談・支援体制の充実【重点施策】	A
	3-3 経済的支援の充実	A
	3-4 ひとり親家庭支援の充実	B
4. 仕事と生活の調和の実現を促す	4-1 多様な保育サービスの充実	B
	4-2 子育てしやすい就労環境の整備	A
5. 子どもの貧困対策をすすめる	5-1 教育・学習支援の充実	B
	5-2 困難を抱える子育て家庭への生活支援の充実	B
	5-3 保護者への就労支援の充実	B
	5-4 相談支援及び地域連携体制の強化【重点施策】	B

A	B	C	D	未
1	10	4	0	0
5	10	0	0	0
1	9	5	0	0
4	9	2	0	0
5	10	0	0	0
1	12	2	0	0
1	12	2	0	0
2	11	1	0	1
3	11	0	0	1
11	3	0	0	1
7	7	0	0	1
9	5	0	0	1
10	4	0	0	1
5	9	0	0	1
1	13	1	0	0
12	2	1	0	0
5	9	0	0	1
2	12	0	0	1
0	13	1	0	1
1	13	0	0	1
86	184	19	0	11

※「未」は、委員から評価し難い等の申し出があった件数を含む。

【委員からの総合評価意見】

各事業ともに努力の跡がみられる。今後は、石巻市の目玉になるような施策の展開が望まれる。
各担当課で、きめ細かな対応がなされていると考えます。全体的に、コロナの影響も鑑みながら進捗状況を踏まえ適切に実施されてきたのではないのでしょうか。
しっかり、計画を立て、寄り添った施策を実行、実践されていると思います。今後とも石巻市の子育てのために不断の努力をお願いいたします。
コロナ禍を踏まえ、各事業がスムーズに展開され、目標値に近づいている印象を受けました。個人や子育て世帯の抱える課題は多様化かつ複雑化していることから、より幅広い支援の充実が求められていると思います。専門機関や地域との連携をより強化し、様々な側面から包括的に子育て支援体制が構築できるよう、地域づくりの視点も重視し、事業を強化していけると良いと感じました。
子育て世代に対して、とてもやさしい政策だと思います。保護者がこれを利用しないと、もったいないと思います。
先日行われたワークショップでは、子ども・若者の視点から沢山の声を聞くことができた。この子ども未来プランにおける点検評価の積み重ねが、いずれ石巻を背負って立つ子どもたちの良い環境につながると思うと、微力だが頑張ろうと思う。
各事業でa評価が多かったことは高く評価できる。コロナが5類移行したとはいえ、様々な感染症が流行し集団での行動に躊躇する家庭も少なくないと思われる。少ない人数の参加であって継続することで周知が図られると思われるので、継続して推進してもらいたい。
「継続して実施」については目標値の設定として適切なのかはこれまでも指摘がありました。今回の評価でも、担当評価の仕方にばらつきがありましたので目標・評価のありかたについてご検討いただけましたら幸いです。
石巻市子ども未来プランが着実に進んでいると感じております。しかし、まだまだ困難を抱える子ども達やその世帯へ十分に支援が届けられていない現状も見られます。本当に必要なことは何か、どうしたらその家庭に必要な支援を届けることができるのか、常に考え続け、一律の支援策ではなく、地域のニーズにより柔軟に変化させ続けることが求められていると感じております。石巻市の今後の発展のため、より一層の推進を期待しております。
各施策とも様々な工夫をしながら着実に推進しています。目標以上の事業の推進に向けて、継続して取り組まれることを期待しています。

基本施策 1 子どもの健やかな成長を支える

(乳幼児期から青少年期までの成長を支える)

1 家庭における子育てする力の向上 [各委員からの評価意見及び委員評価への回答]

1. 子どもの健やかな成長を支える（乳幼児期から青少年期までの成長を支える）	主要施策	1-1 家庭における子育てする力の向上	担当課	委員評価への回答 (令和6年度事業実施を踏まえての回答)
「事業4 子ども展の開催」について、今後どのような内容にするかを検討する必要がある。			学校教育課（学校教育課、教育総務課、子ども保育課、子育て支援課）	【学校教育課】 令和6年度から幼児教育センターを主体とする幼児教育推進事業の推進に重点を置くこととし、令和5年度より「子ども展」の開催について廃止しておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。
子育てサークルの減少にどう歯止めをかけるか要検討であり、祖父母手帳の配布については、祖父母講座の参加者が少なかったから「実施なし」と分析・評価等に記述されていますが、これからの家族構成と地域の中での祖父母世代との関わり方を問う重要な事業と捉えます。			子育て支援課	【子育て支援課】 子育てサークル支援事業について、様々な活動（交流の場）に参加するきっかけづくりが大切であることから、より多くの子育て世帯の方に、各サークルの活動内容や魅力を伝えられるよう、周知を工夫してまいります。 また、祖父母手帳の配布については、祖父母が育児をサポートする際の知識を取得することを目的としており、必要とされる、より多くの方に配布する工夫が必要だと考えます。今年度は、次期計画策定期であり、総合計画等との整合性も図りながら、効果的な事業となるよう実施内容を検討します。
子育てサークルは、活動場所の課題等も聞くため、活動相談の強化も必要であると思います。子育て当事者同士のつながりづくりも重要であると考えます。			—	—
子育てに熱心な家庭とそうでない家庭との格差が出来つつあると思う。			子育て支援課 地域振興課	【子育て支援課】 父親の子育て参加促進事業において、父親が主体的に子どもと関わるためのイベントや講座等を実施することで、一層の子育て参加を促進します。また、本事業を展開することで、家族や地域、関係者が子育てをともに考え、地域全体が参画し、子育てを見守り、支える機運の醸成を図ってまいります。 【地域振興課】 男女共同参画推進事業において、男性が育児や家事へ参加することに対するセミナー等を開催し、意識啓発を図ってまいります。
父や家族ぐるみの子育てへの関心を高める工夫の検討。			「主要施策1-1」の事業担当課	【子育て支援課（計画策定担当課）】 次期計画においても、家庭における子育てする力の向上が図られるように、様々な機会を通じて、こどもの成長や子育てに関する知識や技術の習得を支援してまいります。
地域にもよりますが、家庭内での子育て能力はまだ何かしらの手立てが必要と感じる。どんどん質が低下している世の中で、現状保持だけでも難しい課題かと思うと同時に、親になってから育つ力と、育ってきた中で育つ力があると感じている。子育て支援・親支援が今後基盤となると感じた。			子育て支援課	【子育て支援課】 孫育てについて学べる機会について、当課が担当する各種事業（地域子ども・子育て利用者支援事業、地域子育て支援拠点事業等）のイベントや講座等のなかで実施できないか、検討を進めます。
昨今の子育て事情を知らないおじいちゃんおばあちゃんのために、孫育てについて学べる場所が欲しい。			—	—
特に保護者参加型の事業の評価が良くなっているので、今後も継続していくとよいと思う。			子育て支援課	【子育て支援課】 父親の子育て参加促進事業において、父親が主体的に子どもと関わるためのイベントや講座等を工夫して実施することで、参加者数の増加を目指す。また、イベント等の様子を発信することで、家族や地域、関係者が子育てをともに考え、地域全体が参画し、子育てを見守り、支える機運の醸成を図ってまいります。 また、祖父母手帳の配布については、祖父母が育児をサポートする際の知識を取得することを目的としており、必要とされる、より多くの方に配付する工夫が必要だと考えます。今年度は、次期計画策定期であり、総合計画等との整合性も図りながら、効果的な事業となるよう実施内容を検討します。
概ね目標値に近づいていると評価できる。「事業8 父親の育児参加促進事業」に関しては創意工夫されていることと思うが、目標値に近づきよう手法のブラッシュアップが必要と感じる。「事業10 祖父母手帳の配布」においては、配布の事業に対して目標が講座実施となっており、目標設定を見直す必要があると考える。講座を開催し、より興味関心を持つ祖父母に配布することを目標とし、質にコミットしていることと思うが、啓発等の意味や祖父母と親のコミュニケーションツールとしての役割を果たす等も考えられるため、まずは興味関心がなくても気付く、知ってもらう為に手に届くことが重要と考える。目標の設定から再検討いただけるとありがたい。			「主要施策1-1」の事業担当課	【子育て支援課（計画策定担当課）】 今年度は、次期計画の策定期となっており、個別計画と関連する国・県の計画及び本市の総合計画との整合性を図り、各種ニーズ等調査結果やこども等からの意見聴取内容も踏まえ、事業を精査してまいります。また、指標についても、庁内検討会議で部局横断的に検討したうえで、石巻市子ども子育て会議へお諮りしながら進めてまいりたいと考えております。
現状に即した、また市民ニーズに合わせた目標設定が必要だと思います。 また、そもそも事業の必要性も検討しなければならないと感じました。				

2 地域における子育て支援の充実〔各委員からの評価意見及び委員評価への回答〕

1. 子どもの健やかな成長を支える（乳幼児期から青少年期までの成長を支える）	主要施策	1-2 地域における子育て支援の充実	担当課	委員評価への回答 (令和6年度事業実施を踏まえての回答)
「事業19 コミュニティ・スクール推進事業」について、今後、CSの内容を吟味する必要がある。「事業21 協働教育推進事業」について、目標値に対する評価は「a」ではなく「c」ではないか。「事業24 民生委員・児童委員関係事業」について、充足率を高めるための対応が必要である。			学校教育課 生涯学習課 保健福祉総務課	【学校教育課】 令和6年度に市内全ての小・中・高等学校にCSが設置されたことを受け、先進的な取組の協議会の事例紹介や情報交換等を実施することで、各協議会の取組の充実を図ってまいります。 【生涯学習課】 令和6年度の目標値との比較という点であれば「c」となりますが、令和5年度までは指定校による実施であることから、年度ごとの目標値を達成しており順調であることから「a」評価としているところです。 なお、令和6年度より指定校を設定せず全校を対象とすることから、現在は全校に地域コーディネーターの配置が完了しており順調に事業は進捗しております。 また、第3期計画においては閉校等により目標値が影響を受けないよう、実施率に修正する予定です。 【保健福祉総務課】 充足率向上のため、欠員地区に対しては町内会長（区長）だけでなく各長内会（行政区）に全体で候補者の検討を行っていただくよう呼びかけていくほか、現任の委員については民生委員自身をサポートする『民生委員協力員制度』の活用を推奨し、早期退任の抑制に繋げていくなど、引き続き対策に努めてまいります。
			—	—
			—	—
概ね目標通りに進捗されています。				
地域における多様な世代間の交流事業やコミュニティスクールが全校でスタートしたことで、地域側も学校と一体となり子育てに関われる機会が増えているように感じます。				
世代間交流を活性化し、どちらの世代も楽しく暮らせたら良いと思う。			保健福祉総務課	【保健福祉総務課】 少子高齢化、核家族化が進み高齢者と子どもが関わる機会が減少するなか、委員おっしゃるとおり、地域での交流を通して世代を超えたつながりや相互理解を深め、自分らしくいきいきと暮らせる安全・安心なまちの実現に努めてまいります。
園・学校が計画して行う事業内容は「必ず参加」の形になるので、数値目標を達成しやすい。一般参加を呼び掛けた事業は参加者を集めにくい。			学校教育課（学校教育課、教育総務課、子ども保育課）	【学校教育課】 委員ご指摘のように、実施形態により、目標達成の状況が異なっている状況です。一般に参加を呼び掛ける事業につきましても、「参加したい」と気持ちを高めていただけるよう計画を立案してまいります。
「子育ては大変なので子どもは欲しくない」という若者が増えている。「大変」というイメージを若者世代に持たせてしまっている部分はないか。様々な交流活動を通して、子どもを産み育てることの尊さも伝えていければと思う。			「主要施策1-2」の業担当課	【子育て支援課（計画策定担当課）】 次期計画においても、子育て当事者の幸せの視点を大切に、子育て当事者が、子育てに夢を持ち、安心して子どもを生み育てられる社会環境の整備に努めてまいります。
各施設で取り組むことでよい結果につながったと思う。			—	—
ほぼ「a評価」と考えます。「c評価」の「事業17 インターンシップ事業」については、柴田委員からもある通り「a評価」とするか、定量的な目標を定めないと評価ができないと考える。「事業24 民生委員・児童委員関係事業」について、充足率を上げるのは簡単ではないと思うが、コミュニティの希薄化や家族機能の低下がより顕著に現れてきている地域社会において、より民生委員の役割が必要とされている現状であると感じておりますので、強力に推し進めていただけますと幸いです。同時に研修等や民生委員をサポートすることや質の向上を目指すことは市民の暮らしにも直結していくことと考えますので、より一層推進していただきたいと思います。			人事課 保健福祉総務課	【子育て支援課（計画策定担当）】 担当課評価（内部評価）の評価基準は「4段階」で、「計画策定時とほぼ同じ」については「c評価」となっており、「継続して実施」を目標に掲げる事業担当課においては、この評価基準に基づき「c評価」としている状況です。 今年度は、次期計画の策定期となっており、個別計画と関連する国・県の計画及び本市の総合計画との整合性を図り、各種ニーズ等調査結果や子ども等からの意見聴取内容も踏まえ、事業を精査してまいります。また、指標についても、庁内検討会議で部局横断的に検討したうえで、石巻市子ども子育て会議へ諮りしながら進めてまいりたいと考えております。 【保健福祉総務課】 民生委員・児童委員については、市報やホームページに掲載するなど、地域福祉の担い手として民生委員が欠かせない存在であることを広く市民へ周知し、理解促進を図ってきたほか、民生委員をサポートする民生委員協力員制度の設置や活動費の増額など処遇改善も行ってきたところであります。 引き続き、民生委員の役割についてを市民に周知していくとともに、活動の負担軽減を行いながら、地域福祉の向上に努めてまいります。

3 幼児教育・保育の充実 [各委員からの評価意見及び委員評価への回答]

1. 子どもの健やかな成長を支える（乳幼児期から青少年期までの成長を支える）	主要施策	1-3 幼児教育・保育の充実	担当課	委員評価への回答 (令和6年度事業実施を踏まえての回答)
「事業30 幼保連携推進事業」について、研修会の時期や内容の検討が必要である。「事業31 幼稚園・こども園・保育所と小学校連携推進事業」について、連携が重要であることから、あり方のさらなる工夫が必要である。				【学校教育課】 「事業30」につきましては、今年度の研修会の時期は8月と11月としました。8月は夏季休業中に設定し参加を促す視点、11月は年明けの連絡会に向けて幼保こ小の連携を促す視点から設定しました。8月には、本市幼児教育推進会議の会長を講師に迎え、本市で目指す心身ともにたくましいこどもの育ちを目指すために、遊びをとおした学びの充実をどう捉えるかについて共通理解を図るための研修いたしました。「事業31」との関連から、11月には幼保こ小連携について事例を取り上げて研修し、小学校区ごとに情報交換を実施する予定です。 小学校、私立施設からの参加率はこれまでより増加傾向にあります。更に全体的な参加率を高め、本市の幼児教育の質の向上につながるような研修会としてまいります。
幼稚園・こども園・保育所（以下、幼稚園等）と小学校連携については、当該小学校の学区にある幼稚園等との連携だけでなく、当該小学校に入学する就学園児との交流活動も園児相互、保護者相互の交流にもつながり、充実させたいところです。				連携につきましては、10以上の小学校と引き継ぐ幼児教育施設もあり、全ての交流を実現することは容易ではない状況ですが、幼児教育アドバイザーが交流の可能性についても調整するなど、連携の充実を図ることが必要であると考えております。
保幼小の連携事業の中の研修会は、勉強になることはわかっているが、実際に子供が所・園・学校にいる時間帯となり補欠体制を組むことが難しい現状があると感じる。			学校教育課（学校教育課、教育総務課、子ども保育課、子育て支援課）	幼保こ小の連携の実現のためには、カリキュラムの接続についても幼児教育センターが中心的な役割を果たし、立案していくことが必要な段階です。幼児教育施設と小学校が双方で理解を深め、幼児教育の質の向上を実現できるよう、努めてまいります。
現場において、幼児教育の考え方や保育の充実について、幼児教育センターの開設とともに今後更に充実していけることが期待される。石巻市として、もう少し予算をとっていただき、民間においての充実と民間との連携をはかっていただければと思う。				—
石巻市を挙げて、幼保こ小の架け橋プログラムを充実させてほしい。				
順調に事業実施されていると思う。「事業31」幼こ保と小学校と連携推進事業はとても大事だと思うので実施校が増えることを期待する。				
「c評価」の「事業30及び31」について、参加率、実施校を見ると、対象者、対象校が有意義と感じていないか、周知方法等に課題があるのか等様々な要因が考えられると思うので分析を踏み込んで行ってほしい。それによって事業の内容等を検討する等、今後の策定等に反映させることが必要と考えます。				
コロナ禍の影響もあり、仕方ない面があったかと思います。				

4 発達支援・療育体制の充実 [各委員からの評価意見及び委員評価への回答]

1. 子どもの健やかな成長を支える（乳幼児期から青少年期までの成長を支える）	主要施策	1-4 発達支援・療育体制の充実	担当課	委員評価への回答 (令和6年度事業実施を踏まえての回答)
「事業37 児童発達支援」、「事業38 放課後等デイサービス」は、今後さらに重要になると思われるので、事業内容をさらに工夫する必要がある。			障害福祉課	【障害福祉課】 発達障害、早期療養の認知が進んだことにより、グレーゾーンの子どもの利用が増加し、事業所の新設や、事業所における独自の特色を打ち出した療養の実施も行われるようになってきております。
概ね目標通りに進捗されています。			—	—
障害児に関する研修をさらに充実させ、1-2との関連から、地域の支援者等とともに学べる機会が創出できると良いと考えます。			子ども保育課	【子ども保育課】 例年障害児保育に関する研修会（講習会）を公立及び私立の保育施設に従事する職員を対象に実施しておりますが、対象の範囲を地域の子育て支援活動の実施事業者を加えるなど、関係部署と協議してさらなる充実に向けて検討いたします。
特別支援教育支援員の配置は継続、増員してほしい。人を配置できるよう予算を確保してほしい。			学校教育課	【学校教育課】 事業評価Aで維持となっており、今後も予算の確保及び人員の増員に向けて取り組んでまいります。
現場の状況から、保護者の発達相談や子どもの相談は窓口が広がっていると感じる。しかし、その後の専門性の高い受け入れ機関や相談場所、医療機関等が実質、石巻市ではなく、仙台に通う園児も多い状況である。			障害福祉課	【障害福祉課】 現在、本市における発達相談支援の中核的な役割は「石巻かもめ学園」が担っております。今後も、市として出来ることを検討しながら、相談窓口の拡充を図ってまいりたいと思います。
新規開設する施設は増えてきているようだが、その子に合った施設を探すとなると、空き待ちになることが多々ある。療育施設の充実を希望します。			障害福祉課	【障害福祉課】 障害児のサービス事業は、事業者が都道府県の認可を受けてサービスを行っております。市としては、子ども達に適したサービス利用ができるように、今後も計画相談支援事業所やサービス事業所等と連携しながら、サービスの支給を行ってまいります。
順調に事業実施されていると思う。			—	—
継続して実施の事業に関しては、その時々状況により定量的な目標が妥当でない場合もあるかと思えます。継続実施を目標と掲げるのであれば「a評価」とするか、または次回目標策定時は効果がみられた等の割合等の評価指標とすることが望ましいと考える。			「主要施策1-4」の事業担当課	【子育て支援課（計画策定担当）】 担当課評価（内部評価）の評価基準は「4段階」で、「計画策定時とほぼ同じ」については「c評価」となっており、「継続して実施」を目標に掲げる事業担当課においては、この評価基準に基づき「c評価」としている状況です。 今年度は、次期計画の策定期となっており、個別計画と関連する国・県の計画及び本市の総合計画との整合性を図り、各種ニーズ等調査結果やこども等からの意見聴取内容も踏まえ、事業を精査してまいります。また、指標についても、庁内検討会議で部局横断的に検討したうえで、石巻市子ども子育て会議へお諮りしながら進めてまいりたいと考えております。
現状に即した、また市民ニーズに合わせた目標設定が必要だと思えます。また、そもそも事業の必要性も検討しなければならないと感じました。				

5 心と体の健康づくりの推進 [各委員からの評価意見及び委員評価への回答]

1. 子どもの健やかな成長を支える（乳幼児期から青少年期までの成長を支える）	主要施策	1-5 心と体の健康づくりの推進	担当課	委員評価への回答 （令和6年度事業実施を踏まえての回答）
「事業44 情報モラル教室」は、今後さらに重要になるので、継続して取り組む必要がある。 概ね目標通りに進捗されています。 順調に事業実施されていると思う。 目標値に着実に近づいているため、引き続き推進していただきたい。			学校教育課	【学校教育課】 一人に1台ずつタブレット端末を配布していることもあり、端末の活用方法に関わる教育とモラル教育の両輪で継続的に推進していくことが重要であると考えております。教育活動において幅広く情報について取り扱っておりますので、各教科等の指導と関連させながら実生活に生きるモラル教育を推進してまいります。
			—	—
			—	—
			—	—

6 居場所づくりの推進【重点施策】 [各委員からの評価意見及び委員評価への回答]

1. 子どもの健やかな成長を支える（乳幼児期から青少年期までの成長を支える）	主要施策	1-6 居場所づくりの推進【重点施策】	担当課	委員評価への回答 （令和6年度事業実施を踏まえての回答）
「事業53」ささえあいセンターが大きな役割を果たしている。今後さらに活用を工夫する必要がある。 こどもセンターやささえあいセンターの子育て・次世代支援としての充実した活用がなされています。ささえあいセンターについては、列車・バス等の公共交通機関も隣接していることから、買い物も兼ねた地域の方々、祖父母世代も含めたささえあいセンターへの動線としても検討していただきたいです。 ※必要に応じて、図書・新聞・月刊誌等の閲覧、絵本の読み聞かせなど図書館の機能を生かすことはどうでしょうか。（鰐山の図書館までの徒歩が大変な方には有難い） 乳幼児に対しては充実しているが、小・中・高生に対して居場所が少ないように思われる。 子ども食堂やプレイパークなど、中心部以外にも広げて、さらに居心地のよい安心な居場所づくりに力を入れたい。 ワークショップで子どもたちの話を聞いた時、もっと居場所が欲しいこととその場所に行く手段（バス、電車の本数）で困っていた。もっと子ども目線の情報収集が必要かと思った。 移動型プレーパークの開催数の大幅減少による、影響、課題等が気になります。学び、遊びなど多様なテーマでの居場所づくりを推進できると良いと考えます。 順調に事業実施されていると思う。54.移動型プレーパーク支援事業は残念な結果だったが、ぜひ継続してもらいたい。 居場所の整備等が進んでいることを実感しました。「事業51 地域子ども食堂支援事業」、「事業54 移動型プレーパーク支援事業」に関しては補助内容が十分なものの、活用しやすいものなのか検討をしていただきたい。実施団体等にヒアリング等の調査を十分にに行い反映したものでなければこちらの目標値の達成はかなり困難と考えます。子ども食堂の開催が130回、プレーパークが45回開催でき得る内容となれば目標と内容が合っていない可能性も視野に入れて見直し等が必要だと思います。 重点施策ナリのテコ入れが必要ではないでしょうか。（「事業51」、事業54」）			子育て支援課 総合相談センター	【子育て支援課（こども家庭センター）】 地域包括ケアを推進する中核拠点施設としての役割を担うささえあいセンターにおいて、石巻市子育て世代包括支援センター「いっしょいっしょえきまえ」を運営し、相談支援、情報提供、講座、関係機関との連絡調整等の実施により、子どもの健やかな育ちと、妊娠・出産期から子育て期までの切れ目ない支援を進めております。 また、子育て親子が安心して過ごせる居場所を提供し、子育て世帯をサポートしてまいりたいと考えております。 【保健福祉総務課】 ささえあいセンターには、図書館で常時80～90冊の本を設置し、2週間に1回入れ替えを行っており、市民の皆様自由に読みいただける環境を整備しております。なお、ささえあいセンターの活用については、地域包括ケア推進の拠点として、関係機関や庁内各課と連携し、事業推進に努めてまいりたいと考えております。
			「主要施策1-4」の事業担当課	【子育て支援課（計画策定担当）】 本市では、令和6年1月に「石巻市こどもまんなか宣言」を行い、こどもまんなかアクションとして「①子どもの権利の保障の推進、②子どもの声や意見の聴取・発信、③子どもの居場所の拡充」を更に推進することを目指しています。次期計画において、こどもや若者の居場所の拡充を個別目標に掲げ、取り組んでまいりたいと考えております。
			子育て支援課	【子育て支援課】 地域子ども食堂や移動型プレーパークを開設及び運営する団体に対し、経費の一部を補助する支援事業を継続して実施することで、こどもの居場所の拡充につなげてまいりたいと考えております。
			「主要施策1-4」の事業担当課	【子育て支援課（計画策定担当）】 本市では、令和6年1月に「石巻市こどもまんなか宣言」を行い、こどもまんなかアクション「①子どもの権利の保障の推進、②子どもの声や意見の聴取・発信、③子どもの居場所の拡充」を更に推進することを目指しています。石巻市をより良いまちにしていけるために、こども・若者や子育て当事者等の声や意見を聴きながら、施策への反映につなげてまいります。
			子育て支援課	【子育て支援課】 当計画において、「主要施策1-6 居場所づくりの推進」については、「重点施策」に掲げて取組を推進してまいりました。次期計画においても、地域子ども食堂や移動型プレーパークを開設及び運営する団体に対し、経費の一部を補助する支援事業を継続して実施することで、こどもの居場所の拡充につなげてまいりたいと考えております。 補助内容については、子ども食堂やプレーパークの実施規模（提供する食数や活動回数等）に応じて公平に支援するために、補助金交付要綱を定めて実施したところですが、近年、コロナ禍により開催が難しい状況が続いたことや、他の補助金や寄附収入により、活動が支えられたとのお話を伺っております。今後も関係団体への補助の活用についての聴取や他自治体の実施状況等も踏まえながら効果的な補助の在り方について検討しながら実施してまいります。

基本施策 2 子どもの人権の尊重と安全・安心を守る

1 子どもの権利の推進 [各委員からの評価意見及び委員評価への回答]

2. 子どもの人権の尊重と安全・安心を守る	主要施策	2-1 子どもの権利の推進	担当課	委員評価への回答 (令和6年度事業実施を踏まえての回答)
「事業58 子どもの意見表明等への取組み」において、「らいつ」は、よい働きをしている。「事業59 いしのまき政策コンテスト」は、重要な事業ではあるが、事業内容の工夫検討が必要である。				
「いしのまき政策コンテスト」の参加校を増やしたいです。そこで、例えば「住み続けたい石巻」をテーマにして、石巻市の中学校と桜坂高校は、「総合的な学習（探究）の時間」（以下、総合学習）として取り組んでみたらどうでしょうか。もちろん、大学生もゼミとして参加します。中学校と高校は各校の指導計画に「住み続けたい石巻」を位置付け、課題設定から発表までの活動を実施することが重要だと考えます。特に、総合学習に重点を置いている学校は課題解決能力が育ち、学力向上にもつながります。さらに、コミュニティ・スクールもすべての学校で取り入れていることから、石巻市としての中高生の願いが反映されます。ポスターセッションの形で審査し、優れている上位校のプレゼン発表を行うなど、石巻市としての特色あるコンテストにしていきたいです。			政策企画課	【政策企画課】 事業内容の工夫検討については、昨年参加した学生やサポートした関係者のフィードバックを受け、学生へのサポート体制やコンテストの進め方などの改善に取り組み、令和6年度は、コンテストテーマを「観光」に絞って開催し、学生が具体的な政策をイメージしやすくしているほか、使用するテキストの改良などを実施しております。参加校を増やす取り組みとしては、市報やSNSなどでのPRのほか、石巻圏域の大学および高等学校へ直接訪問し、コンテストの開催および参加の呼びかけを行い、令和6年度は決勝大会において、13チームから政策提言いただきました。 また、総合的な学習の時間を活用した取組については、将来を担う子供たちが市政に関心を持ち、本市に愛着を持っていただくことが大変重要でありますことから、いただいた提案を踏まえ、本事業のあり方を検討してまいります。
「子どもの権利」直接市長に意見を言おう！のような、意見を出せる（集める）場が身近にあり、もっと手軽にできるようになるとよい。さらに願いはかなえられるということが実感できれば、さらに、アイデアや声を出してみようかなと、意識が高まると思う。			子育て支援課	【子育て支援課（計画策定担当）】 本市では、令和6年1月に「石巻市こどもまんなか宣言」を行い、こどもまんなかアクション「①子どもの権利の保障の推進、②子どもの声や意見の聴取・発信、③子どもの居場所の拡充」を更に推進することを目指しています。次期計画において、こどもまんなか社会の実現に向けて、こどもの権利を柱に、こどもの意見表明と参加の促進を個別目標に掲げ、取組を推進してまいりたいと考えております。
条例の周知や講演会等触れる機会はあるが、子ども主体（参加型）の活動はまだ出会ったことがないので楽しみにしている。			—	—
順調に事業実施されていると思う。			—	—
引き続き推進していただきたい。			—	—

2 児童虐待防止対策の強化【重点施策】 [各委員からの評価意見及び委員評価への回答]

2. 子どもの人権の尊重と安全・安心を守る	主要施策	2-2 児童虐待防止対策の強化【重点施策】	担当課	委員評価への回答 (令和6年度事業実施を踏まえての回答)
各事業ともに努力の跡がみられる。			—	—
概ね目標通りに進捗されています。			—	—
学校・地域の目が防止対策につながると思う。			—	—
虐待防止については、市の相談センターが窓口となり、保護者にも丁寧に対応していただいている。啓発において、親になる前の年代（教育等）でも、広めていけたらと思った。			総合相談センター	【子育て支援課（計画策定担当課）】 次期計画では、「こどもの権利が守られているか」という視点から、関係者や周囲の大人等が、こどもの「声なき声」やこどもの変化に気づき、見守り支える体制づくりや、こどもが安心してSOSを発信できる環境づくりを推進してまいります。
順調に事業実施されていると思う。			—	—
一律で相談件数を目標としても対象者等によっては困難なことがあろうかと思うので、aとしたいところですが定量的目標と比較してbとさせていただきます。引き続き推進していただきたい。			総合相談センター	【総合相談センター】 相談件数が多い状況は望ましくない一方で相談窓口の周知が図られているとも考えられるため今後も安心して相談できる体制づくりを進めてまいります。
「事業66 専門カウンセラー相談事業」について、利用者数を目標として良いのか検討が必要だと思います。			総合相談センター	【子育て支援課（計画策定担当課）】 相談事業の指標について、利用者数が増えることは、担当課が行う事業周知の取組の効果の現れという観点では評価につながる一方、相談者が多い状況は石巻市での暮らしやすさの観点からは必ずしも望ましくない状況とも捉えられ、数値化した目標立てに難しさがあります。 次期計画の策定期にあたり、評価手法の課題も含めて庁内検討会議で検討したうえで、石巻市子ども子育て会議へお諮りしながら、指標の設定を進めてまいりたいと考えております。

3 心のケアの充実〔各委員からの評価意見及び委員評価への回答〕

2. 子どもの人権の尊重と安全・安心を守る	主要施策	2-3 心のケアの充実	担当課	委員評価への回答 (令和6年度事業実施を踏まえての回答)
新事業の「学びサポート相談事業」は今後ますます重要になるので、発展継続が望まれる。			学校教育課	【学校教育課】 令和6年度はすでに、昨年度の通所児童生徒数を上回り、今後も増加する見通しです。それに伴い、支援員の増加やサテライト方式による学習スペースの拡充等を進めてまいりたいと考えております。
概ね目標通りに進捗されています。			—	—
SSW活用事業の問題好転率の向上は成果であると思います。SSWが、アウトリーチを行い、多機関と連携し個別課題解決を図れるような体制がより整うことを期待します。			学校教育課	【学校教育課】 令和6年度も、SSWが関係機関と連携することを契機とし、組織的に課題解決が図れるよう、連絡会や研修会の実施を通して体制の充実を目指してまいります。
順調に事業実施されていると思う。			—	—
「c評価」の「事業70 少年センター相談事業」について、不登校や生活に関する相談が多いとのことですが15件でとどまっており、不登校の数や虐待件数等から考えても相談件数としては少ない。周知の問題か他機関が対応しているものか実態を調査しつつ、引き続き推進していただきたい。			総合相談センター	【総合相談センター】 スクールカウンセラーなどが配置されている他、学びサポートセンターも新設され相談窓口が増加しております、今後もより一層の周知徹底に取り組んでまいります。
目標設定に問題があると思います（「事業70 少年センター相談事業」、「新規事業 学びサポートセンター事業」）			総合相談センター 学校教育課	【子育て支援課（計画策定担当課）】 相談事業の指標について、利用者数が増えることは、担当課が行う事業周知の取組の効果の現れという観点では評価につながる一方、相談者が多い状況は石巻市での暮らしやすさの観点からは必ずしも望ましくない状況とも捉えられ、数値化した目標立てに難しさがあります。 次期計画の策定期にあたり、評価手法の課題も含めて庁内検討会議で検討したうえで、石巻市子ども子育て会議へお諮りしながら、指標の設定を進めてまいりたいと考えております。

4 安全対策の充実〔各委員からの評価意見及び委員評価への回答〕

2. 子どもの人権の尊重と安全・安心を守る	主要施策	2-4 安全対策の充実	担当課	委員評価への回答 (令和6年度事業実施を踏まえての回答)
各事業ともに成果に結びついている。			—	—
充実した事業が実施されたものと考えます。			—	—
学校と市（地域防災等）の連携が課題と感じる。			学校安全推進課	【学校安全推進課】 令和2年度に市内全ての学校に地域防災連絡会が設置され、避難所開設の確認や、実際に災害が起きた時対応するために必要な訓練について話し合いをするなど、学校・市・地域が一体となった防災力の向上・充実を図っているところでございます。
順調に事業実施されていると思う。			—	—
引き続き推進していただきたい。			—	—

基本施策 3 安心して子どもを産み育てられる環境をつくる
(妊娠・出産期からの切れ目のない支援)

1 親と子どもの健康の確保及び増進〔各委員からの評価意見及び委員評価への回答〕

3. 安心して子どもを産み育てられる環境をつくる(妊娠・出産期からの切れ目のない支援)	主要施策	3-1 親と子どもの健康の確保及び増進	担当課	委員評価への回答 (令和6年度事業実施を踏まえての回答)
各事業ともに成果に結びついている。			—	—
概ね目標通りに進捗されています。			—	—
順調に事業実施されていると思う。			—	—
継続実施の「c評価」以外はコロナ禍からの経過の部分を考慮すると着実に推進されていると考える。			—	—

2 切れ目のない相談・支援体制の充実【重点施策】 [各委員からの評価意見及び委員評価への回答]

3. 安心して子どもを産み育てられる環境をつくる（妊娠・出産期からの切れ目のない支援）	主要施策	3-2 切れ目のない相談・支援体制の充実【重点施策】	担当課	委員評価への回答 （令和6年度事業実施を踏まえての回答）
各事業ともに成果に結びついている。			—	—
概ね目標通りに進捗されています。			—	—
育児ヘルパー事業のSNSを活用した手続き導入は、利用しやすい環境づくりにつながっていると評価します。他の事業の「利用しやすさ」も重視できると良いと思います。			—	—
順調に事業実施されていると思う。			—	—
「事業102 いしのまき子育て情報発信事業」については、周知や登録までの工夫が必要と感じます。			子育て支援課	【子育て支援課】 子育て応援アプリ「I SHIMO」については、母子手帳交付や面談、転入時などの案内をはじめ、関係課への窓口等への設置やこども・子育てに関係する各種イベント等での配布など、周知に努めておりますが、子育てに役立つ情報を多く発信していますので、より多くの方に登録いただけるよう、更に周知に力を入れてまいります。
評価の仕方に疑問があります。あるいは目標設定の仕方に考慮が必要だと思います。（「事業100 多機関協働による包括的相談支援」）			保健福祉総務課	【子育て支援課（計画策定担当課）】 相談事業の指標について、利用者数が増えることは、担当課が行う事業周知の取組の効果の現れという観点では評価につながる一方、相談者が多い状況は石巻市での暮らしやすさの観点からは必ずしも望ましくない状況とも捉えられ、数値化した目標立てに難しさがあります。 次期計画の策定期にあたり、評価手法の課題も含めて庁内検討会議で検討したうえで、石巻市子ども子育て会議へお諮りしながら、指標の設定を進めてまいりたいと考えております。

3 経済的支援の充実 [各委員からの評価意見及び委員評価への回答]

3. 安心して子どもを産み育てられる環境をつくる（妊娠・出産期からの切れ目のない支援）	主要施策	3-3 経済的支援の充実	担当課	委員評価への回答 （令和6年度事業実施を踏まえての回答）
特に、「事業117 奨学金返還支援事業」の助成の在り方を見直す必要がある。			保健福祉総務課	【保健福祉総務課】 「奨学金返還支援事業」は借り入れた奨学金の返還金額の一部を助成することで、地域包括ケアの推進に必要な医療及び福祉に係る人材の確保と定住促進を図ることを目的としております。 令和5年度の新規申請分からは、長期的な人材確保を見込み、助成総額を変更せず、助成期間を3年から6年に見直し、令和6年度には利用者の利便性向上のため、オンライン申請の導入、申請手続きの簡略化等の制度の見直しを行ったところです。 今後も各事業所や対象者の目に触れやすいSNSなどを活用し広く制度の周知を図り、多くの方に本事業を利用いただき、長期的な専門職の人材確保に繋げていけるよう努めてまいります。
概ね目標通りに進捗されています。			—	—
順調に事業実施されていると思う。			—	—
必要な人が確実に活用できるよう周知方法等の見直しを考えていただきたい。			「主要施策3-3」の事業担当課	【子育て支援課（計画策定担当課）】 支援を必要とする方が確実に各種事業を活用できるよう、様々な媒体を活用し、こどもや子育てに関わる部署、民間団体、地域等と連携しながら周知を強化してまいります。

4 ひとり親家庭支援の充実 [各委員からの評価意見及び委員評価への回答]

3. 安心して子どもを産み育てられる環境をつくる（妊娠・出産期からの切れ目のない支援）	主要施策	3-4 ひとり親家庭支援の充実	担当課	委員評価への回答 （令和6年度事業実施を踏まえての回答）
特に、「事業128 生活困窮世帯の子どもの学習・生活支援事業」は、努力の跡がみられる。			—	—
概ね目標通りに進捗されています。			—	—
ひとりで頑張りすぎず、気軽に相談できる所があるのが良いと思う。			—	—
サービスが受けにくい地域（少人数の地域）への支援も行き渡ってほしい。			子育て支援課	【子育て支援課】 各総合支所市民福祉課との連携を図りながら、事業周知や相談支援体制の強化に努めてまいります。
順調に事業実施されていると思う。			—	—
ひとり親家庭では自らが情報を取得することが通常より困難となる。周知方法等ひとり親へのサポート体制を引き続き推進いただきたい。			子育て支援課	【子育て支援課】 ひとり親家庭が安心して子育てでき、子どもが健やかに成長できるよう、多様な主体が連携しながら周知に努め、引き続き、国の動向を踏まえて就労支援や生活支援の充実を図ってまいります。

基本施策 4 仕事と生活の調和の実現を促す

1 多様な保育サービスの充実 [各委員からの評価意見及び委員評価への回答]

4. 仕事と生活の調和の実現を促す	主要施策	4-1 多様な保育サービスの充実	担当課	委員評価への回答 （令和6年度事業実施を踏まえての回答）
それぞれの事業で努力の跡がみられる。			—	—
概ね目標通りに進捗されています。			—	—
働き方の多様化に合わせた保育ニーズに沿った、サービスが充実することを期待します。			「主要施策4-1」の事業担当課	【子育て支援課（計画策定担当）】 次期計画においても、多様な保育サービスの充実を目標に掲げ、様々な就労形態や働き方に対応し、仕事と子育ての両立を支援してまいります。
預かり、延長保育等の更なる充実を望む。（サービスを行う側の雇用の充実も必要、人材の活用）			子ども保育課 教育総務課	【子ども保育課】 延長保育の充実に関しては、令和6年度から開設した私立認定こども園において夜10時までの延長を実施しているところです。ご指摘のとおり、サービスの充実には雇用の充実も必要でありますことから、令和6年度から事業者が雇用する保育士の宿舎を借り上げた際の費用の一部を補助することで、保育士が働きやすい環境を整備し、人材確保を図ることを目的として、民間の保育施設運営事業者向けに「保育士宿舎借り上げ支援事業」を実施しております。 【教育総務課】 申し込み状況を踏まえ、保護者のニーズの把握に努めます。
保育現場において、発熱や体調が悪くなった時等、「仕事を休めない」「すぐに出られない」という保護者も少なくない。また、「子どもが小さいと、休まなければならないため、なかなか就労先が決まらない」という話をよく耳にする。保育所・こども園には養護教諭が在動していないため、緊急対応も難しい場面もある。石巻市において、就労先または近辺の病後（時）保育の充実を図れないものか。			子ども保育課	【子ども保育課】 病後（時）保育の充実に関しては、現在民間事業者への委託により病後児対応型と体調不良時対応型を実施しておりますが、緊急時の対応等に関する医療機関との連携構築や専用スペース・確保、必要な設備や人員が整備された施設がないと実施できないことから、現在の委託先の事業拡大について検討してまいります。
充実した保育環境を提供したいが、保育士の確保が難しい。			子ども保育課	【子ども保育課】 令和6年度から、事業者が雇用する保育士の宿舎を借り上げた際の費用の一部を補助することで、保育士が働きやすい環境を整備し、人材確保を図ることを目的として、民間の保育施設運営事業者向けに「保育士宿舎借り上げ支援事業」を実施しております。
保育士の確保が難しい等の困難な状況が見られるが、子育てを支援するにあたって重要な部分と感じており、より一層の推進をお願いいたします。			—	—
順調に事業実施されていると思う。				

2 子育てしやすい就労環境の整備 [各委員からの評価意見及び委員評価への回答]

4. 仕事と生活の調和の実現を促す	主要施策	4-2 子育てしやすい就労環境の整備	担当課	委員評価への回答 (令和6年度事業実施を踏まえての回答)
「事業141 子育てしやすい職場環境整備推進事業」で、参加者数があるとよい。			地域振興課	【地域振興課】 子育てしやすい職場環境整備推進事業につきましては、市職員や市内事業所の管理職等を対象に研修等を実施したところですが、参加者につきましては、市職員123名、市内事業所7名となっております。今後は、研修等の開催に係る情報発信を積極的に行い、市内事業所からの参加者を増やしてまいりたいと考えております。また、研修終了後には、参加者へアンケートを実施しているところですが、いただいたご意見を参考に、研修内容の充実を図ってまいります。
十分に達成されています。講座等の実施回数3回で「a」評価になっていますが、何人参加したのか不明であり、明記していただきたいです。また、参加者の自己評価等も今後の講座等の充実につながると考えます。			商工課	【商工課】 労働局において、仕事と子育ての両立支援制度の導入や利用が進んでいる企業に対し「子育てサポート企業」の認定を行っていることから、引き続き、ハローワークと連携し、各種制度の周知や幅広く企業に知ってもらう機会を設けていきたい。
企業の子育てへの理解も啓蒙していければと思う。			—	—
順調に事業実施されていると思う。			—	—
引き続き推進していただきたい。				

基本施策5 子どもの貧困対策をすすめる

1 教育・学習支援の充実 [各委員からの評価意見及び委員評価への回答]

5. 子どもの貧困対策をすすめる	主要施策	5-1 教育・学習支援の充実	担当課	委員評価への回答 (令和6年度事業実施を踏まえての回答)
各事業に努力の跡がみられる。			—	—
概ね目標通りに進捗されています。			—	—
順調に事業実施されていると思う。			—	—
一部目標値には達成していないが、成果や効果としては非常に高いと感ぜられるため「a評価」とした。			—	—

2 困難を抱える子育て家庭への生活支援の充実 [各委員からの評価意見及び委員評価への回答]

5. 子どもの貧困対策をすすめる	主要施策	5-2 困難を抱える子育て家庭への生活支援の充実	担当課	委員評価への回答 (令和6年度事業実施を踏まえての回答)
各事業に努力の跡がみられる。			—	—
概ね目標通りに進捗されています。			—	—
順調に事業実施されていると思う。			—	—
概ね目標値に近づいていると感じるが、補助事業等の目標値に対して明らかに達していないものは手法の検討を再度実施いただきたい。			子育て支援課	【子育て支援課】 「事業151 移動型プレーパーク支援事業」等補助事業について、子ども食堂やプレーパークの実施規模（提供する食数や活動回数等）に応じて公平に支援するために、補助金交付要綱を定めて実施してきたところですが、近年、コロナ禍により開催が難しい状況が続いたことや、他の補助金や寄附収入により、活動が支えられたとのことをお話を伺っております。今後も関係団体への補助の活用についての聴取や他自治体の実施状況等も踏まえながら効果的な補助の在り方について検討しながら実施してまいります。
制度設計、（様式？）に課題があるのではないのでしょうか。（「事業151」）				

3 保護者への就労支援の充実 [各委員からの評価意見及び委員評価への回答]

5. 子どもの貧困対策をすすめる	主要施策	5-3 保護者への就労支援の充実	担当課	委員評価への回答 (令和6年度事業実施を踏まえての回答)
		各事業に努力の跡がみられる。	—	—
		概ね目標通りに進捗されています。	—	—
		順調に事業実施されていると思う。	—	—
		保護者への支援はこども達に直結するものであるので、目標値に達していない箇所についてさらなる推進をお願いしたい。	子育て支援課	【子育て支援課】 当事業については、ひとり親家庭の母または父が、より安定した就労機会を確保するため、資格取得等を支援するもので、国の動向を踏まえて市の要綱を改正して事業を推進しているところです。保護者のニーズに応じて活用いただけるよう、児童扶養手当の現況届受付時（更新）など、窓口で直接対面できる機会を捉えて、引き続き、制度の周知に努めてまいります。
		事業、制度の見直しが必要ではないでしょうか（「事業165」、「事業166」）		

4 相談支援及び地域連携体制の強化【重点施策】 [各委員からの評価意見及び委員評価への回答]

5. 子どもの貧困対策をすすめる	主要施策	5-4 相談支援及び地域連携体制の強化【重点施策】	担当課	委員評価への回答 (令和6年度事業実施を踏まえての回答)
		「事業183 民生委員・児童委員関係事業」の欠員が憂慮される。民生委員・児童委員の発掘方法を見直すべきである。	保健福祉総務課	【保健福祉総務課】 民生委員の欠員については少子高齢化や定年後も働き続ける方の増加が増加するなどにより、地域の担い手不足が生じていることが要因の一つとなっております。 欠員地区に対しては町内会長（区長）だけでなく各長内会（行政区）に全体で候補者の検討を行っていただくよう呼びかけていくほか、民生委員の必要性の周知や民生委員活動に対する民生委員活動の具体的な活動内容や「やりがい」、民生委員自身をサポートする民生委員協力員制度についても発信することで「負担」として捉えられがちな民生委員活動に対するイメージアップにも努め、なり手不足の解消に努めてまいります。
		概ね目標通りに進捗されています。	—	—
		子どもの貧困は、複合的課題のため、重層的支援体制整備事業も軸とし、各部署や専門機関が連携協力し、支援体制の強化を進めていけると考えます。	保健福祉総務課	【保健福祉総務課】 子どもの貧困等複合的課題については、課題を紐解きそれぞれの課題を各関係機関に繋いでいけるように連携し、支援体制の構築を図ってまいりたいと考えております。
		相談に來ない生活困窮者への支援…途中で終わらない支援見守りが必要か・・・。	「主要施策5-4」の事業担当課	【子育て支援課（計画策定担当課）】 支援を必要とする方を確実に適切な支援につなげるよう、令和7年度を始期とする次期計画においても、市、民間団体、地域等、多様な主体が連携し、地域全体でこどもを育み、子育て家庭を見守り、支え合う体制づくりを推進してまいります。
		どの事業も必要不可欠な事業と認識しています。目標必達に向けて強力な推進をお願いいたします。		
		順調に事業実施されていると思う。	—	—
		目標設定に課題があると思いました。（「事業181」）	保護課	【子育て支援課（計画策定担当課）】 相談事業の指標について、利用者数が増えることは、担当課が行う事業周知の取組の効果の現れという観点では評価につながる一方、相談者が多い状況は石巻市での暮らしやすさの観点からは必ずしも望ましくない状況とも捉えられ、数値化した目標立てに難しさがあります。 次期計画の策定期にあたり、評価手法の課題も含めて庁内検討会議で検討したうえで、石巻市子ども子育て会議へお諮りしながら、指標の設定を進めてまいりたいと考えております。